

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要		平成8年度		根拠法令・例規等	地方自治法 備前市契約規則 備前市検査規程 契約監理室	
事業開始年度		06	健全で自立したまちづくり			
総合計画	大項目	基本目標	01	簡素で効率的な行財政運営	問 担当課(室)	
	中項目	基本施策	06	財政(契約監理関係)		職・氏名
	小項目	施策	02	検査事業	検査副参事 平田 惣己治	
事務事業名		02	検査事業	先 電話	0869-64-1813	
					このシート作成に要した時間	3.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市発注の工事等と請負者・工事担当職員
目的(何のために)	市発注工事の適正執行と品質確保及びコスト削減の推進
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	工事等により得られる目的物の耐久性・利便性・安全性・経済性の確保と請負者・担当職員の技術力向上

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績		優先度
細事業名	事業の説明	
コスト削減計画関係事務	公共工事のコスト削減のため4分野100項目による行動計画を策定し、この計画に基づき発注担当課が工事実施するよう協議調整する。	△
目的を達成するために実施した事業	設計審査事務	△
	工事等共通事項事務	○
	検査関係事務	◎

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費	千円	0.81人	7,473	0.97人	10,126
	必要人員	人	7,473	10,126	4,136	
	事業費	千円				
	国県支出金					
	受益者負担					
財源	千円					
繰入金債						
その他()						
一般財源			7,473	10,126	4,136	
受益者負担比率	%					
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	説明		財政課(契約監理課)において実施した、130万円以上の工事及び工事に係る委託の中間、出来高、竣工検査件数			
	結果指標量	事業	124	157	177	
	対前年比	%		126.6%	112.7%	
	活動コスト	円	2,471,000	2,085,000	2,238,000	
	単位当たりコスト		19,927	13,280	12,644	

事業の成果		年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
工事成績評定点	成果指標名	目標値(A)	80.6	80.2	80.7	81.3
		実績値(B)	79.1	80.5	80.0	到達目標値
		達成率(B/A)	98.14%	100.37%	99.13%	85
成果指標設定の考え方・式や説明						
工事成績評定点は工事の施工管理や品質などの水準を顕す指標となるもので、さらなる施工技術や品質の向上を目指すため、平成19年度の実績値を元に10年間で85点に到達できるよう目標設定している。						

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	A
	必要性	
効率性の評価	コスト	B
	手段	
有効性の評価	目的達成度	B
	市民参画度	

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい

進行年度(H22年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明				○					
	当面、現状で維持しつつ、業者の技術力と工事結果の適切な評価方法を、現行制度の見直しも含め検討していく。								

総合評価		評価区分<A~E>
本事業による公共工事等の品質確保とコスト削減は、市民生活の向上と工事等の請負者・担当者の技術向上に寄与するものであり、事業執行部門から独立させた検査体制は公共工事等の適正執行に不可欠である。今後、さらなる向上を目指し工事や業者の評価制度の見直しや体制の充実を図る必要があると思われる。		A

平成23年度の方向性及び取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標				○					
	成績評定制度の見直し、発注者評価点の導入などについて、先進団体の制度調査や導入に伴うリスク・効果等を研究していく。								